

縦割り班活動で学んでほしいこと

校長 櫻井隆夫

秩父の山の緑もすっかり色濃くなりました。5月25日には、第75回全国植樹祭が秩父ミュージアムパークを会場に天皇陛下ご臨席のもと開催されました。樹木を植えて育て、いかに活用するか「活樹」という言葉を学びました。秩父の山々の樹木をどのように活用していくかが今後の大きな課題であると感じます。

さて、秩父第一小学校の教育の特色の一つに縦割り班活動があります。1年生から6年生が一つのグループになって取り組む活動です。日頃の子供たちの様子を見てみると、登校時は班長が下級生の歩く速さに合わせて通学している姿や、上級生が1年生と一緒に掃除をしながらほうきの使い方や雑巾がけのしかたを教えている姿が見られます。

5月20日のロング昼休みは「へび道じゃんけん」をして楽しく遊びました。1年生は上級生に遊び方を教えてもらいながら楽しそうに遊んでいました。

また、5月22日は、全校縦割り遠足で羊山公園に出かけました。はじめの会で「上級生は下級生の面倒をみながら、下級生は上級生の言うことをよく聞いて楽しい遠足にしましょう。」と話をしました。子供たちは、グループごとに協力してオリエンテーリングをしたり、鬼ごっこやだるまさんが転んだなどをして楽しく過ごしました。

第一小学校の子供たちは、皆仲がよく楽しく協力して学校生活を送っています。学校では、こうした異年齢の人間関係づくりを学習することも大切にしています。



【縦割り班遊び】



【全校縦割り遠足】

交通安全子供自転車埼玉県大会に向けて

6月28日（土）に行われる交通安全こども自転車埼玉県大会に向けて、子供たちは毎日一生懸命練習に取り組んでいます。5月17日（土）には、選手12名による紅白戦が行われました。秩父市長清野和彦様をはじめ、多くの保護者の皆様に見守られながら、本番さながらの雰囲気の中で精一杯力を発揮しようと頑張っていました。中には、自分の実力が発揮できず涙を流している児童もあり、そのような真剣に頑張っている姿を見てとても感動させられました。今回の紅白戦を機に、子供たちは更にレベルアップし、県大会では悔いのない走りをしてくれるでしょう。

